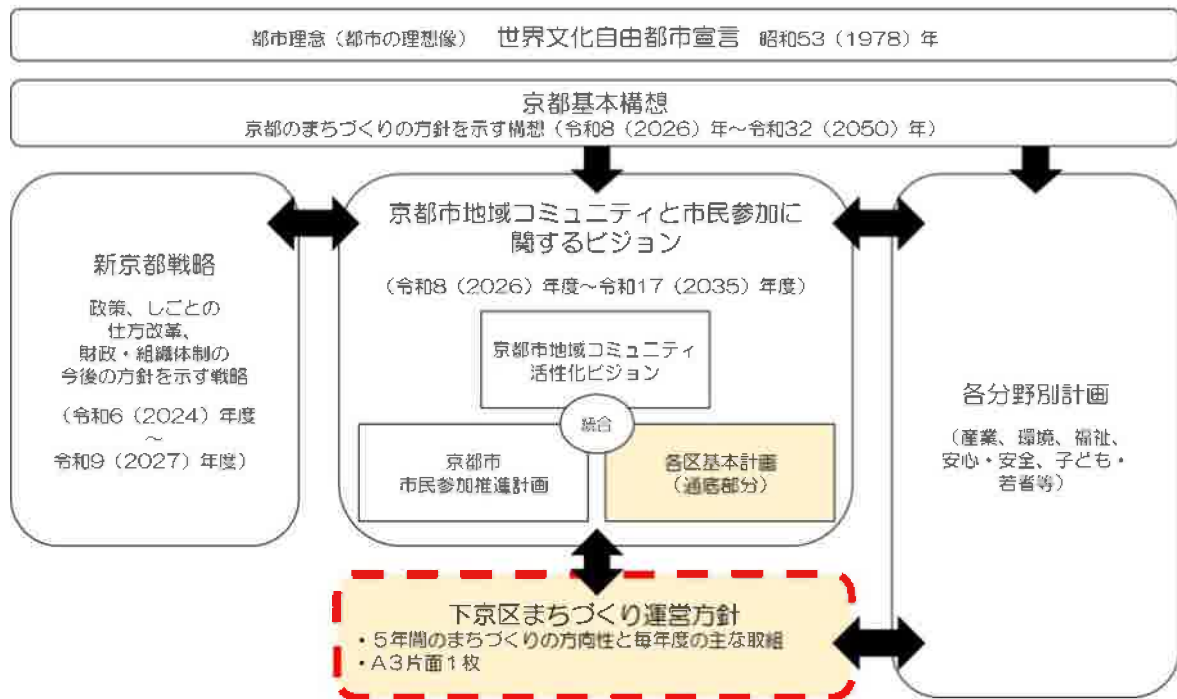


下京区まちづくり運営方針の策定について

1 本運営方針策定に当たっての考え方

区役所の目指す方向性（通底部分）については、全区・支所共通の「京都市地域コミュニティと市民参加に関するビジョン」を策定。

本運営方針においては、“地域特性に応じた区独自のまちづくり”について、策定する。



2 推進期間

令和8（2026）年度～令和12（2030）年度の5年間

3 運営方針内容

別紙参照

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年3月 区民の皆様からの意見聴取
 ○ 市民しんぶん下京区版や区 SNS 等
 ○ 区実施事業や区内実施イベント（民間団体のマルシェ）等
 4月 運営方針最終案の提示・確認
 （「自治連合会連絡会」・「市協会長会総会」や「書面」を想定）
 6月頃 運営方針公表

(案)

下京区まちづくり運営方針

【将来像・目指す姿】

住んでよし 若者や子育て世代に選ばれる、豊かな自然と人のあたたかさが感じられるウェルビーイングなまち
働いてよし 伝統産業と先端産業が集う、歴史と未来が交差し働く人みんなが元気に輝く、活気あふれるまち
訪れてよし 歴史と都市の賑わいが調和する、訪れるたびに新しい出会いがあるまち
学んでよし 地域に息づく歴史や文化、芸術を世代を超えて学び合う、学藝のまち

【まちづくりの方向性】

1 地域コミュニティが元気なまち

持続可能な地域コミュニティづくりに向けて、区役所が人と人・人と活動をつなぐ結節点となり、住民同士のつながりづくりや、地域活動への参加促進、多様な主体の世代や分野を超えた地域活動への参画を進めます。また、社会・地域課題解決の推進を目指し、図書館・学校などの開かれた公共空間づくりや、まちづくり事業へのサポート、地域の方々と様々な団体・事業者との交流機会の拡充、地域活動の ICT 化への支援などの取組を進めます。

2 誰もがいきいきとくらするまち

はぐくみ文化の推進に向けて、オール下京での子どもと家庭を育む地域ぐるみの環境づくりや、特に支援が必要な子ども・家庭への切れ目のない支援、自己肯定感を高めることができる主体的に学び育つ環境づくりを進めます。また、誰一人取り残さない支え合いのまちづくりを目指し、地域の絆や顔の見える関係を構築するための多様な見守り活動や居場所づくり、人生 100 年時代を見据えた健康づくりや介護予防などの取組を進めます。

3 自然環境を大切にするまち

環境と調和した活動を敬い大切にするまちづくりに向けて、「門掃き」など京のまちに根付く生活習慣を学び大切にするとともに、地域での清掃活動や学区におけるエコ活動の推進、梅小路公園や高瀬川などの自然と触れ合う機会の創出などの取組を進めます。

4 誰もが安心安全にくらするまち

誰もが安心安全にくらするまちづくりに向けて、地域の方々と行政だけでない団体・事業者も巻き込んだ地域防災力の強化や、防犯・防火活動、交通安全対策等についての各団体間の連携・協働などの取組を一層推進します。

5 文化・芸術・産業を活かしたまち

地域住民だけでなく世界中からお越しになる方々からも愛されるまちづくりに向けて、伝統産業・生活文化の魅力向上に取り組むとともに、芸術系高校・大学、産業支援機関、京都駅前や商店街等の多様なポテンシャルが存在する強みを活かし、文化・芸術・産業が交差し融合する多様な取組を進めます。また、「京都学藝衆構想」の実現に向け地域におられる特技や技能を持つ方と連携した取組を進めることで、将来にわたってこのまちの自然・歴史・文化・まち柄を継承していくことを目指します。

【推進にあたって】

- ・ 推進期間は令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間
- ・ 行政と区民、区民同士の対話の機会を積極的に創出し、地域の実情やニーズを踏まえたタイムリーな施策を実施します。

【令和8年度 下京区の主な取組】

○ 地域コミュニティ活性化事業（まちづくりの方向性1）

地域の担い手が意見交換を行うワークショップ（下京区長 Meetup（ミートアップ））や、地域活動における ICT 化を支援する。

○ 下京区民“支え合い・絆づくり”支援事業（下京区ふれあい事業）（まちづくりの方向性1、2、5）

区民の絆をより一層深めるため、地域の魅力発見等を通じて、幅広い年齢層の区民がつながり、支え合い、絆を深める事業を実施する。

○ 下京区まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」（まちづくりの方向性1）

地域住民・事業者等が地域力を活かして主体的に行うまちづくり活動の、はじめの一步を応援する補助金制度。令和8年度は、「学生チャレンジ応援枠」を設け、学生が取り組む活動に対する支援を強化する。

○ 交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト（まちづくりの方向性1）

「SHIMOGYO+GOOD」採択団体やまちづくり活動を行う学生や事業者、地域住民等、多様なコミュニティの方々の交流を促進する交流会等を、様々なテーマを設定して実施する。

○ 下京みらい数珠つなぎプロジェクト（まちづくりの方向性2）

「赤ちゃん人形貸出事業」の推進による妊娠期からの子育て支援、下京子育て応援情報誌「子どもねっと下京」やウェブサイト「暮らしたい下京」などによる情報発信等に取り組む。

○ まちなかでのスポーツを通じた子育て支援（まちづくりの方向性2、5）

プロスポーツ選手による子育て世代向けのアーバンスポーツ等の体験会を区内で定期的実施する。

○ 地域・子育て情報サイト「暮らしたい下京」による情報発信（まちづくりの方向性2、5）

地域や子育てに関する情報だけでなく、下京区への定住・移住を検討する方にも役立つ情報を発信することで、「暮らすまち」としての下京区の魅力を区内外に発信する。

○ 健康長寿のまち・下京の推進（まちづくりの方向性2）

福祉関連団体と連携した地域の健康・福祉課題がテーマのワークショップや、高齢・障害・児童等の分野別の垣根を超えた相談関係機関と地域住民による情報交換会等を実施する。

○ 下京区安心安全ネット継続応援事業（まちづくりの方向性4）

小学校区や元学区単位に設置された「安心安全ネットワーク」等を継続的に応援し、区役所、学校、警察署、消防署などの関係機関が連携し、防犯、防災、子どもの安全、地域福祉など幅広い分野で安心・安全の確保に取り組む。

○ 下京区総合防災訓練の実施（まちづくりの方向性4）

大規模災害の発生に備え、下京区防災会議をはじめとする防災関係機関及び自主防災会との連携のもと、災害対応力の向上及び区民の防災意識の高揚のため、下京区総合防災訓練を実施する。

○ 下京・京都駅前サマーフェスタ（まちづくりの方向性5）

西本願寺、東本願寺、興正寺、京都駅ビル開発㈱、下京区役所等が連携し、京都駅ビル及び周辺エリアで下京区の魅力を発信するイベントを実施する。

○ 京都学藝衆構想の推進（まちづくりの方向性5）

下京区ならではの伝統文化・産業・芸能等の地域の「学藝衆」の方々と連携し、誰もが下京区の魅力を再発見することができる「学び合う場」を創出するとともに、「暮らしたい下京」を活用した情報発信を行うことで、区内の方の地域への愛着を醸成するとともに、「下京ファン」の増加を目指す。